

日本オペラ協会公演

総監督 | 郡 愛子
Aiko KORI

キジムナー

KIJIMUNA TOKI WO KAKERU

時を翔ける

中村 透 台本/作曲
オペラ全 2 幕

ニュープロダクション

中村 透 追悼公演

指揮 | 星出 豊
Yutaka HOSHIDE
演出 | 栗國 淳
Jun AGUNI

2/20
SAT

2/21
SUN

カルカリナ	砂川涼子 Ryoko SUNAKAWA	中鉢 聡 Satoshi CHUBACHI
オバア	森山京子 Kyoko MORIYAMA	松原広美 Hiromi MATSUBARA
ミキ	長島由佳 Yuka NAGASHIMA	西本真子 Mako NISHIMOTO
フミオ	芝野遥香 Michika SHIBANO	中桐かなえ Kanae NAKAGIRI
マサキ	海道弘昭 Hiroaki KAIDO	所谷直生 Naoki TOKORODANI
本多	押川浩士 Hiroshi OSHIKAWA	田村洋貴 Hiroki TAMURA
区長	泉 良平 Ryohei IZUMI	田中大揮 Taiki TANAKA
マチー	金城理沙子 Risako KINJO	知念利津子 Ritsuko CHINEN
ジラー	照屋篤紀 Atsuki TERUYA	琉子健太郎 Kentaro RYUSHI

合唱：日本オペラ協会合唱団
Nihon Opera Kyokai Chorus Group

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団
Tokyo Philharmonic Orchestra

ただひたすらこの神木の生命に
我が身の魂を重ね合わせるのだ

2021年2月20日(土)・21日(日) 14:00 新宿文化センター大ホール
開場13:00 *各日とも13:15から作品解説をいたします。上演時間:約2時間30分

S¥12,000 A¥10,000 B¥8,000 C¥5,000 D¥2,500 (税込)

好評発売中!!

■青春割引チケット：B席～D席が¥2,000 (25歳以下/枚数限定) ■ヤング・フレッシュマンチケット：S席・A席が半額 (25歳以下/枚数限定) ■障がい者割引：S席～B席が20%割引 (要お問合せ/枚数限定)
*特別割引につきましては、日本オペラ振興会チケットセンターへのお電話のみで取り扱い。詳細はお問い合わせください。
*客席は50%以下で販売しておりますが、今後販売座席を追加する場合がございます。予めご了承ください。

●お問い合わせ・予約 | 日本オペラ振興会チケットセンター 03-6721-0874 (平日10:00～18:00) <https://www.jof.or.jp>

文化でつながる。未来につながる。

●チケット販売所 | チケットぴあ <https://t.pia.jp> 0570-02-9999 (Pコード:186-554)

Tokyo Tokyo
FESTIVAL

イープラス <https://eplus.jp>
新宿文化センター(窓口のみ) 03-3350-1141 (9:00～19:00/休館日を除く)

キジムナー 時を翔ける

T.Nakamura : KIJIMUNA TOKI WO KAKERU Opera in 2 acts in Original Language

オペラ「キジムナー時を翔ける」は、北海道出身でありながら沖縄に魅了され、生涯のほとんどを沖縄に捧げた偉大な作曲家である中村透の台本・作曲による傑作で、1990年度文化庁舞台創作奨励特別賞(グランプリ)を受賞しました。2001年以後の再演となる今回は、2019年2月に急逝された中村透氏を偲び、三回忌と重なる2021年に追悼公演として新演出で上演致します。

リゾート開発による自然破壊に揺れる現代の沖縄を舞台に、沖縄伝説のガジュマルの木などの巨木に棲む妖精「キジムナー」を通じて過去と未来にタイムトラベルし、今日のテーマである「人と自然のあり方」「伝統の尊さ」を現代に生きる我々に優しく問い掛けるファンタジックオペラです。現代感覚の親しみやすい音楽の中に、沖縄固有の旋律や方言などで沖縄の風土色を感じさせるこの作品は、これまでに「琉球楽器が見事に調和した多彩なオーケストレーション」「沖縄旋律の広がる終幕に熱い感動」等、新聞評で絶賛され、台本を手掛けた作曲家の手腕も称賛されました。

今回、キジムナー「カルカリナ」に、沖縄出身で美しい舞台姿と確かな歌唱力で人気を得ている日本を代表するソプラノの砂川涼子と、日本オペラのベテランでありどんな役をも歌いこなすテノールの中鉢 聡が同役を担い、声種の異なる二人がそれぞれどのような妖精を演じるのかに注目が集まっています。沖縄のオバアを演じるのは、その存在感で高い評価を得ているメゾ・ソプラノ、沖縄出身の森山京子と松原広美、その他人気と実力を兼ね備えたキャストिंगでお届けいたします。指揮は初演以来度々この作品を成功に導いてきた日本が誇る巨匠・星出 豊、演出は沖縄出身の演出家・故栗國 彦を父に持ち、今や日本を代表するオペラ演出家である栗國 淳が務めます。日本オペラ協会がお届けする「心の琴線に触れるオペラ」を、心ゆくまでお楽しみください。

Story

リゾート開発に揺れる現代の沖縄のある島。村では開発反対運動のやり方が議論されている。自然に憧れ、キジムナーに思いを馳せる少年フミオと、反対派との口論の果てに神木のウスクの老木を切り倒そうとした土地開発会社の青年技師マサキは、カルカリナという名のキジムナーの力で17世紀王府時代の沖縄にタイムスリップする。

鬱蒼と茂る森でカルカリナはフミオに自然の尊さを語る。続いて現れたマサキは、ご禁制の王府直轄の森での木の伐採をめぐる村人達のトラブルに巻き込まれ捕らえられてしまう。カルカリナが一計を講じマサキを助け出し3人は脱出するが、今度は環境破壊が進んだ22世紀の灰色の世界にオーバースリップする。カルカリナは意識を失って倒れている二人の人間の記憶に、この荒涼とした景色を留めさせる。

舞台は再び現代。放心状態のマサキが戻って来る。村では反対運動のデモンストレーションとしてキジムナーの祭りのリハーサルが始まる。儀式が最高潮に達した時。本物のキジムナーとフミオが祭壇の側のあこう木に降り立つ。カルカリナが「風を見よ、水に聞け…」とお告げを歌い、やがてその歌は村人全員の合唱へと盛り上がりて行く……。



指揮 | 星出 豊
Yutaka HOSHIDE



演出 | 栗國 淳
Jun AGUNI

2/20
SAT



カルカリナ
砂川涼子
Ryoko SUNAKAWA



オバア
森山京子
Kyoko MORIYAMA



ミキ
長島由佳
Yuka NAGASHIMA



フミオ
芝野遥香
Michika SHIBANO



マサキ
海道弘昭
Hiroaki KAIDO



本多
押川浩士
Hiroshi OSHIKAWA



区長
泉 良平
Ryohei IZUMI

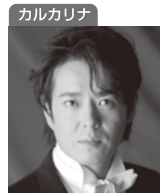


マチー
金城理沙子
Risako KINJO



ジラー
照屋篤紀
Atsuki TERUYA

2/21
SUN



カルカリナ
中鉢 聡
Satoshi CHUBACHI



オバア
松原広美
Hiromi MATSUBARA



ミキ
西本真子
Mako NISHIMOTO



フミオ
中桐かなえ
Kanae NAKAGIRI



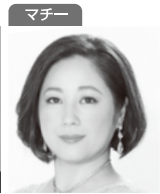
マサキ
所谷直生
Naoki TOKORODANI



本多
田村洋貴
Hiroki TAMURA



区長
田中大揮
Taiki TANAKA



マチー
知念利津子
Ritsuko CHINEN



ジラー
琉子健太郎
Kentaro RYUSHI

STAFF

合唱指揮：須藤桂司
照明：大島祐夫
演出助手：橋詰陽子
美術：川口直次
舞台監督：斎藤美穂
方言指導：破名城隼子
衣裳：増田恵美
副指揮：仲田淳也

新型コロナウイルス感染症対策等詳細は
日本オペラ振興会HPをご覧ください。▶



NPO法人日本音楽生涯学習振興協会は、藤原歌劇団・日本オペラ協会の本公演を応援しています！

日音協会では、地域住民のための生涯学習『童謡コーラス』『みんなの音楽会』の2つの支援事業を推進しています

TV 『みんなの音楽会テレビ』 毎週日曜朝(テレビ神奈川 10時00分/テレビ埼玉 10時15分)好評放送中!
— レギュラーコーナー「みんなのオペラ」では、日本オペラ振興会の公演や歌手をご紹介します。—